

重点項目についての環境配慮概要										内訳対応項目		
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。												
“ストップ温暖化しずおか行動計画”の推進(Gloval Warming)												
	■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策)/④部品・部材の耐用年数					Q-1	2	2.1	2.1.3	①	外皮性能	
	②庇、カーテンを施し良好な昼光制御を可能にした。 トップライトを用いて内部空間に自然光を導入して昼光利用を積極的に行った。					Q-1	3	3.1	3.1.3	②	昼光利用設備	
	③グレアが発生しないように奥の深い庇を設けることとした。							3.2	3.2.2	③	昼光制御	
						Q-2	2	2.2	2.2.1	④	外壁仕上げ材の補修必要間隔	
									2.2.2	④	主要内装仕上げ材の更新必要間隔	
									2.2.3	④	配管・配線材の更新必要間隔	
									2.2.4	④	主要設備機器の更新必要間隔	
	■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上)					Q-3	1			⑤	生物環境保全と創出	
	⑤周囲が山林で囲まれており、緑も多いことから敷地内にも積極的に緑化を行った。 ⑥中高木を計画的に配置し敷地内温熱環境の向上を図る。						3	3.2		⑥	敷地内温熱環境の向上	
	■エネルギー対策 (⑦建物の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用)					LR-1	1			⑦	建物の熱負荷抑制	
	⑦建物外周に奥行き深い庇を設けて、夏季の日射を防ぎ空調熱負荷を低減する工夫をした。						2	2.1		⑧	自然エネルギー直接利用	
	⑧クールトレンチやソーラーパネルを用いて自然エネルギーを積極的に利用。							2.2		⑧	自然エネルギー変換利用	
	⑨照明については効率的な器具の採用や適性な照度設定によりエネルギー消費の低減に努める。						3			⑨	設備システムの高効率化	
							4	4.1		⑩	モニタリング	
								4.2		⑩	運用管理体制	
	■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫低環境負荷材)					LR-2	1	1.1		⑪	節水	
	⑪水資源保護として、雨水を貯留し再利用するようにした。							1.2	1.2.1	⑪	雨水利用システム	
	⑫F☆☆☆☆材を積極的に利用するようにしている。								1.2.2	⑪	雑排水利用システム	
							2	2.1	2.1.1	⑫	躯体材料の再利用効率	
									2.1.2	⑫	非構造材料の再利用効率	
								2.2		⑫	持続可能な森林から産出された木材	
								2.3		⑫	有害物質を含まない材料	
								2.4		⑫	既存建築躯体などの再利用	
								2.5		⑫	部材の再利用可能性	
								2.6	2.6.1	⑫	消火剤	
									2.6.2	⑫	断熱材	
									2.6.3	⑫	冷媒	
	■敷地外環境対策 (⑬温熱環境悪化の改善)					LR-3	5			⑬	温熱環境悪化の改善	
	“災害に強いしずおか”の形成(Disaster)											
		■サービス性能対策 (⑭耐震・免震/⑮信頼性)					Q-2	2	2.1	2.1.1	⑭	耐震性
⑭地域係数Z=1.2、用途係数I=1.25								2.1.2	⑭	免震・制振性能		
							2.4	2.4.1	⑮	空調・換気設備		
								2.4.2	⑮	給排水・衛生設備		
								2.4.3	⑮	電気設備		
								2.4.4	⑮	機械・配管支持方法		
								2.4.5	⑮	通信・情報設備		
“しずおかユニバーサルデザイン”の推進(Universal Design)												
		■サービス性能対策 (⑯機能性・使いやすさ/⑰心理性・快適性/⑱空間のゆとり)					Q-2	1	1.1	1.1.3	⑯⑰	ユニバーサルデザイン計画
		⑯館内にブロードバンド環境を実現できる配管を施し情報環境の充実を計った ⑰階高を十分にとり、移動間仕切り壁などで柔軟に空間を仕切れるように計画した。						3	3.1	3.1.1	⑯	階高のゆとり
									3.1.2	⑯	空間の形状・自由さ	
	■室外環境(敷地内)対策 (⑲地域性・アメニティへの配慮)					Q-3	3	3.1		⑲	地域性への配慮、快適性の向上	
	“緑化及び自然景観”の保全・回復(Nature)											
		■室外環境(敷地内)対策 (⑳生物環境の保全と創出/㉑まちなみ・景観への配慮/㉒敷地内温熱環境の向上)					Q-3	1			㉑	生物環境保全と創出
		⑳外構部に中高木を計画的に配置し敷地内に良好な緑化環境を創出する ㉑地形に合わせた低層5階建ての建物形状として景観に配慮した ㉒敷地内温熱環境の向上のために積極的に緑化を行った						2			㉑	まちなみ景観への配慮
								3	3.2		㉒	敷地内温熱環境の向上
		■敷地外環境対策 (⑳温熱環境悪化の改善)					LR-3	5			⑳	温熱環境悪化の改善
		㉑外構部の計画的な緑の配置により温熱環境悪化の改善に寄与する										